当面のスポーツ医科学研究テーマについて（論点）

論点１：「奈良メソッド（案）」に追加すべき要素

　　○スポーツ医科学研究の全体像として、「奈良メソッド（案）」を整理した。

　　○スポーツ医科学研究の全体像として、追加すべき要素はあるか。

論点２：当面のスポーツ医科学研究のテーマ

　　○今後は、「奈良メソッド」に基づき、重点分野や先行着手する分野を絞り込

む。

　　○将来的な、アカデミーの整備を見据えて、来年度以降、実施すべき研究テーマは何か。

　　○現時点で想定しているテーマは、以下のとおり。

　　研究テーマⅠ：県政の課題や重点分野に沿ったテーマ

　　　　　　　　　　　→スポーツ傷害予防、熱中症対策

　　　　　　　　　　　　※運動部活動中の事故防止

　　　　　　　　　　　→就学前幼児向けスポーツプログラムの開発

※奈良県教育振興大綱における重点的な取組

　　研究テーマⅡ：研究成果を広く県民に還元できるテーマ

　　　　　　　　　　　→栄養、睡眠、ヒューマンスキル　など

　　研究テーマⅢ：障がい者スポーツの振興に資するテーマ

　　　　　　　　　　　→障がい者アスリートへのサポート　など

以　上

教育振興大綱（抜粋）

資料６

（平成28年3月31日策定）

第１章　大綱の趣旨

大綱の策定に当たっては、地方教育行政改革の趣旨を踏まえ、教育こそが「県政の目指す姿」である「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」基盤であるとの認識の下、人口減少克服や地方創生をはじめ県政が直面する諸課題と密接な連携をとることとしています。

また、本県では、県と市町村あるいは市町村同士が連携・協働して行政上の諸課題に取り組む「奈良モデル」を積極的に推進していることから、策定に当たって、総合教育会議に加え「奈良県教育サミット」を開催し、知事・市町村長と県・市町村の教育長が一堂に会して意見交換を行っているところであり、大綱では市町村が主体的に取り組むべき課題も幅広く取り上げることとしています。

第３章　基本理念と目指す人間像

＜基本理念＞

「育人～県民一人一人が学び、育ち合い、潜在力を最大限引き出す～」

＜目指す人間像＞

Ⅰ　自他を尊び、地域を尊ぶ人～「自尊」「他尊」「地尊」の人づくり～

Ⅱ　確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を備えた人

～「知」「徳」「体」の調和がとれた人づくり～

Ⅲ　自立し、主体性をもって行動し、協働して地域・社会に参画する人

Ⅳ　創造性を発揮し、世界に伍して活躍する人

第４章　施策の基本的方向性

○教育内容・教育方法の充実

①就学前教育の推進体制の構築

幼稚園・保育所・認定こども園では、公立・私立ともに幼児教育の質の充実を図るため、県の関係部課による連絡調整会議を設けて連携を図るなど、就学前教育を推進するための体制を整備します。

②「奈良県幼児の運動能力等実態調査」の実施

幼児の運動能力等の実態を調査分析し、幼児の健やかな心と身体つくりを推進します。

③「就学前教育プログラム」の策定

探究心や思考力、表現力等に加えて、感情や行動のコントロール、粘り強さ等のいわゆる非認知的能力を育むことがその後の学びに重要であるとの指摘を踏まえつつ、科学的な知見等の活用による就学前教育の内容を充実させ、乳幼児の心身の発育・発達を促すための適切な遊び・運動・しつけについて専門的観点から効果的な手法を検討し、「奈良県版就学前教育プログラム」を策定し普及します。